



船用分野へのガス燃料活用に対応するプロジェクトチーム

「VMGT（ブイエムジーティー）」が活動を開始

ボルカノ株式会社は、船用分野へのガス燃料活用が拡大してきていることに対応し、社内各部署からのメンバー参加によるプロジェクトチームを設置し、活動を開始しました。

プロジェクトチーム名： 船用ガス関連プロジェクト
(英文名称:VOLCANO "Maritime Gas Fuel Utilization" Taskforce)

※愛称は英文名称を基に設定した「VMGT（ブイエムジーティー）」

プロジェクトリーダー： 開発部開発課 石丸久志（いしまる ひさし）課長

プロジェクトメンバー： 開発部、燃焼機事業部（営業課、船用機械課、産業機械課）、システム制御部、生産本部（管理課、調達課）東京営業所、から上記リーダーを含め合計9名が参加

活動内容： LNG（液化天然ガス）燃料船でのボイラ用バーナへのガス燃料活用、ガス燃料タンクから発生する余剰ガス処理、など、船用分野へのガス燃料活用における課題解決提供、お客様から増加しているガス燃料活用に関する質問への対応、お客様へのガス燃料活用説明、活用方法具体化の相談
LNG燃料船へのガス関連製品導入時の燃焼条件設定／調整／試運転

石丸プロジェクトリーダー談話「船用分野でのガス関連製品において、ボルカノは37年以上の実績があり、ガスと重油を混焼できる『オイル／ガス コンビネーションバーナ SFFGⅡ』等をLNG（液化天然ガス）運搬船の主ボイラ用として多数搭載してきた実績があります。その実績を

問合せ先：燃焼機事業部 営業部（TEL06-6392-5541）

info-m@volcano.co.jp

担当 佐々木、名定（なさだ）

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38



Press Information

もとに、これまでの納入先様だけでなく、幅広いお客様からの問合せが増加しています。これら質問にお答えするのは当然のこととして、さらに、お客様への説明、導入にあたっての懸念事項の相談や解決案の提供、などの活動が必要との考えから、このプロジェクト発足準備を続けてきました。プロジェクトメンバー、社内関連部署でガス燃料活用に関わるメンバー、それぞれ人数が限られており、プロジェクト業務のほか、設計販売の実務、試運転調整、などいかに効率的に取り組むか、もまたやりがいのある課題となっています。お客様とのやりとりにおいては、営業、開発、技術が分担して、お答えしていける体制をめざしています。とは言っても、お客様との相談など、外に出ていく機会が多く、忙しさに嬉しい悲鳴を上げているのが本音です（笑）。ボイラ用バーナへのガス燃料活用やタンク内で蒸発して発生するBOG（ボイルオフガス）の安全かつ環境を意識した処理についてのご質問は、ボルカノの燃焼機お問合せ窓口（info-m@volcano.co.jp）で受け付けていますので、お気軽にお寄せいただければと思います。」



写真は、LNG運搬船の主ボイラや
LNG燃料船の補助ボイラなどに搭載されている、
ガス/オイルを同時混焼可能なバーナ
S F F G II
(エスエフエフジーツー)

以上

問合せ先：燃焼機事業部 営業部 （TEL06-6392-5541）
info-m@volcano.co.jp 担当 佐々木、名定（なさだ）
ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38